工学部 第63回工大祭報告

工学部工大祭実行委員長　廣津　竜真（電エネ3年）

こんにちは。工学部工大祭実行委員長の廣津竜真です。まずは、第63回工大祭にご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

今年度は10月7日、8日の2日間にわたり、第63回工大祭が開催されました。今年度は工学部工大祭のテーマを「Growth and Brilliance」とし、対面開催を再開した昨年度よりもさらに盛り上がる工大祭を創りあげることができるよう、準備、運営に努めました。来場者は2日間で約5、100名と、多くの方に足を運んでいただくことができました。本学学生をはじめとし、地域の方や家族連れの方など、多くの方に楽しんでいただけたようで、実行委員一同、心より嬉しく思います。

さて、ここからは第63回工大祭の内容について振り返ってみたいと思います。

野外ステージでは地域企画やクイズ企画や音楽企画、恵輝祭、後夜祭、などさまざまな企画を開催しました。各研究室や教室では学科展やサークル展、「よいこのかがくじっけん」などを開催しました。また学校全体では各サークルや研究室など、約40の団体に模擬店を出店していただきました。さらに、今年度は4年ぶりとなるプロコンサートを開催し、声優の石川界人さんにお越しいただき、トークショーを行っていただきました。途中、雨に降られることもありましたが、最後まで多くの方にご参加いただくことができました。

対面開催を再開した去年に比べ、規模の拡大やプロコンサートの開催など、経験のないことばかりという状況下での工大祭開催ということで、不安なことも多々ありましたが、OBの方や学校関係者の方など多くの方にご協力いただき、無事に第63回工大祭を開催することができました。

今年度の工大祭実行委員会のメンバーは70名ほどいましたが、未経験な部分が多いこともあり、準備も本番もかなり大変だったと思います。それでも最後まで最高の工大祭を創りあげようと、妥協することなくよく頑張ってくれました。このメンバーでなければここまでの工大祭を創ることはできなかったと思います。このメンバーで第63回工大祭を開催できたのは私の誇りであり、一生の思い出です。来年度、第64回工大祭は後輩たちに託し、よりよい工大祭を創りあげてもらいたいと思います。皆様、どうかご期待ください。

最後になりましたが、第63回工大祭は多くの方々の協力によって成り立っております。ご協力いただいた企業や学校関係者の方々、模擬店や学科展、サークル展等で工大祭を盛り上げて下さった本学学生の皆さん、ならびに地域住民の方々へ、この場をお借りして深く感謝申し上げます。また来年度以降も応援、ご協力をよろしくお願いいたします。

野外ステージの様子

実行委員会のメンバー

情報工学部　第63回工大祭報告

情報工学部工大祭実行委員長　猪口　拓真（情通ソ3年）

皆さんこんにちは。情報工学部工大祭実行委員会委員長の猪口です。10月7、8日に行われました第63回工大祭『kitkit いい日になる』にご参加くださった皆様、ありがとうございました。

本年度の工大祭では、事前予約制を撤廃し、学内だけでなく地域の皆様や他県の方にまで工大祭にお越しいただいたこと、大変嬉しく思います。また、昨年度にはなかったフリーマーケットに多くの地域の方々が参加してくださり、その多彩な出店や交流が工大祭を一層充実させました。これらの取り組みもあり、工大祭が成功を収め、その成果に心から喜びを感じています。

ここからは、第63回工大祭について振り返りたいと思います。委員が企画して行うものでは、学生に参加いただく企画のほか、観客の皆様を巻き込んでの企画や誰でも参加してお楽しみいただけるビンゴ企画、3つの種目の総合点によって景品のレベルが上がっていくバラエティー企画、構内を歩いてスタンプを押して回るスタンプラリー、委員が用意した謎を解く謎解き企画など、様々な楽しみ方をしていただけるような企画を行いました。これらの企画では、私たちの想定よりも参加者が多くなり、景品の数が足りない状況が生じました。参加者の皆様には誠に申し訳なく、同時に多くの方々がご参加いただき、嬉しい誤算でもありました。講義棟では、各団体の活動紹介となるサークル展、アゴラ棟・研究棟では研究室や学科の研究紹介、体験の場となる学科展を行いました。また、小学生向けの科学実験教室・プログラミング教室も実施し、子ども向けの企画も行いました。グラウンドでは特設ステージで企画を行い、模擬店も開催することができました。ステージ上では、学内外の団体の多彩なパフォーマンスが工大祭をいっそう盛り上げてくれました。また、17団体の皆様に模擬店を出店していただいたおかげで、グラウンドは賑やかな雰囲気に包まれました。7日の昼には、声優さんをお呼びして、トークショー&ミニライブを開催しました。コロナ禍ではできなかった声を上げたり、ジャンプしたりといった活動が復活し、会場には一体感と興奮が広がりました。プロコンサートは工大祭の一大イベントでもあるため、その盛り上がりは忘れられないものとなりました。他にも打ち上げ花火やフリーマーケット、SNS企画など、多彩な企画が行われ、楽しみが盛りだくさんでした。このように、さまざまな要素が組み合わさり、素敵な工大祭が開催できたと思います。工大祭を支えてくださったすべての皆様に心から感謝申し上げます。今後も皆様と共に素晴らしい工大祭を築いていけることを願っています。

最後に、このような工大祭が開催できたのは、今まで共に歩んできた委員はもちろん、ご理解・ご協力いただいた大学関係の皆様、地域の皆様など、たくさんの方の支えがあってこそだと深く感じております。心よりお礼申し上げます。第64回工大祭では新たな魅力や企画がどのように広がるのか、どんな素晴らしいイベントになるのか、非常に楽しみです。来年度の工大祭もどうぞよろしくお願いします！

情報工学部工大祭公式HP：
https://kit-festival.jp

工大祭実行委員会メンバー

少林寺拳法部4年ぶりの夏合宿報告

第59代主将　河野　恵伍（機械知能工学科）

はじめに

去る2023年9月26日(火)から9月30日(土)にかけて、4年ぶりの夏合宿を開催しましたので報告させていただきます。

2020年以来の新型コロナ感染症の影響で、夏合宿などの行事は開催ができなかったのですが、本年度は5類移行もあり、やっと開催することができました。5日間という短期間での夏合宿ではありましたが、武道場に寝泊まりし、朝から晩まで少林寺拳法の修練に取り組み、その間、学内外のOB・OGから応援や差し入れのご支援を頂けたことには、大変勇気づけられ、先輩方への感謝の気持ちも込めて、本報告をさせていただければと思います。

令和5年度夏合宿のしおり

今回の夏合宿は我々にとって初めての経験であり、ここ数年開催できていないので手探りの中ではありましたが、三浦監督（22代）のご指導を受けながら、安全を最優先に、何のための夏合宿かという目的を明確にし、部員全員で共有するための、令和5年度夏合宿のしおりを作成しましたので紹介させていただきます。

夏合宿のしおり

まず合宿のテーマを「基礎体力と意識の向上」とし、目的は「5日間の修練を通して、忍耐力と体力をつけるとともに部員間の結束を強化すること」としました。具体的な目標も学年ごとに3つ掲げて取り組むことにしました。

学年別の具体的な目標

① 1年生は5級昇格試験で8割以上の点数をとること。

② 演武の審査を行い、1年生は81点以上、3年生は83点以上をとること。

③ 演武時間は2分までに収め、腰を落とした構えが保持できる体力をつけること。

術科（剛法）の修練

日々の修練は朝8:20起床し朝食と作務を行い、9:20から朝の修練を始めます。修練の最中には、学内外のOB・OGが多く駆けつけてくださり、飲み物を始め多くの差し入れを頂き、大学時代の少林寺拳法が社会に出てから役に立ったこと、自信をもって少林寺拳法を修練してきたことを生かしてほしいと、激励の話もいただきました。

日々の修練では、術科として剛法や柔法の技を繰り返しかけあう相対練習で、お互いの技に磨きをかけていきました。

術科（柔法）の修練

剛法や柔法の修練の実践的な運用として乱捕の修練に取り組みました。先輩との対戦から自分の欠点を見つ

け出し、上達していきました。

運用法（乱捕り）の修練

恒例・夏合宿最終日の行軍

過去には、真夏の夏合宿のため、夜間行軍が行われたとのことですが、今回は時期的にも9月後半ですので昼間の行軍としました。行程は戸畑キャンパス武道場から門司港駅までの約16キロの距離をひたすら歩きました。

小倉までは工大前バス通りを歩き、西小倉駅で第1回目の小休憩、学内外のOB・OGが車で来てくださり、飲み物などの差し入れをしてくれました。

西小倉からは常盤橋を渡って国道199号線に出て、海岸沿いを歩きました。このあたりから雨風が強くなり、傘を差しながら歩き続けました。

最終日・行軍ルート（門司港まで）

最終日・行軍スタート（正門前）

無事、ゴールの門司港到着！

ついに、全員無事にゴールの門司港駅の噴水前に到着。5時間ひたすら歩き、日頃話せないいろいろな話ができたことで部員一同の結束が強くなったと実感しました。

小倉駅を過ぎ雨風が激しくなり

休憩所にはOB・OGが差し入れ

行軍ゴール完歩！（門司港駅前）

夏合宿を終えての総括

初日から監督が主座をしていただく、「体力作り」と称した千本突・千本蹴では、夏合宿の厳しさを目の当たりにし、皆不安を感じていました。それでも根気強く修練に励み、3日目の夜に行われた5級昇級試験では、無事1年生全員が5級に合格することができました。試験に向けて、熱心に練習している一生懸命な1年生たちの姿には心を動かされました。

また、合宿では次の大会に向けた演武練習も行いました。組演武は初

めての経験でしたが、教えに駆けつけてくれたＯＢの先輩の教えもあり、驚くほど早く上達しました。

最終日の行軍では、突然の雨に打たれ不安でしたが、無事最後までやり遂げることができ、良かったです。

最後に

九州工大での合宿は、皆初めての経験でした。朝から晩まで練習が続き、体力・精神力共に鍛えられましたが、それと同時に、部員間の結束も強まり、練習に対する意識も高まったように感じました。ただ、ミスも多く、反省点もかなりあるので、来年の合宿に向けて、もっとしっかりと準備していきたいと思います。

本夏合宿において、ご指導に来てくださり、色々な形で応援いただいたＯＢ・ＯＧの先輩方や、監督には大変感謝しております。ありがとうございました。今後、北九州大会や全九州学生大会もあり、より一層気を引き締めて修練に励んで行きます。来年には60周年を迎えますので、更なる仲間と共に活動していきたいと思います。引き続きご支援の程、宜しくお願い致します。結手